

飛躍

HIYAKU

第233号



東海大学付属高輪台高等学校 学校報

●発行日/2005年5月1日

●発行者/東海大学付属高輪台高等学校 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

吹奏楽部103名

カナダ演奏旅行を成功させ帰国

10回の演奏会を各地で開催

本校の英語教育及び国際交流推進化の成果が実る



カナダ・サウザランド高校のアリーナで



ホストファミリーと



カナダの子供たちに習字を指導

2005年度学校運営方針

—70周年に向けての第一歩—

本校は昨年12月11日に松前総長を迎えて創立60周年記念式典を挙げてまいりました。式典では、60周年が、これまでの本校の歩みをただ懐かしく振り返るだけの節目ではなく、70周年に向けた第一歩であることが確認されました。1年目のスタートである今年度、次の10項目を重点目標として学校改革に取り組んでいきます。



また、上記の目標の他にも、昨年度から引き続き文部科学省から指定を受けているSSH(スーパーサイエンスハイスクール)を、新たに1年生・2年生にSSHクラスとして編成してスタートすること。総合グラウンドの第3次整備計画など、様々な活動が準備されています。『飛躍』では、これらの10の目標に対する具体的な取り組みについて、次号以降でお知らせしていききたいと思います。

ようこそ高輪台高校へ



土佐林 大樹

1年10組、横浜市立神奈川中学校出身

僕は受験の時、多くの高校を見学したのですが、一番魅力を感じたのがこの高校でした。何より惹かれたのは生徒達がいきいきとしていたことです。また僕は学校見学のとき実際英語の模擬授業を受けてみました。コンピュータで英検の勉強をする授業です。僕は準2級に合格したばかりだったので、とてもコンピュータを使った授業に興味を覚えま

大きな夢を見つけるために

した。これから2級、準1級と上の級を目指して頑張りたいです。

そして、この高校で多くの友達を見つけ、多くのことを学ぶことができれば、大きな力がつくと思います。またSSHクラスでは、他の学校では学べないことを学べるので、とても楽しみにしています。様々な事に疑問を持ち、それを追求していくことで、この貴重な3年間を意味あるものになりたいです。そのために部活をやりながら、いろいろな事に挑戦し、大きな夢を見つけたいです。

母の声

土佐林 久美子

1年10組、大樹君のお母さん

この3月、大樹の姉が付属高輪台高校を卒業し、入れ替わるように4月、大樹が入学しましたので、2人の子どもがお世話になることになりました。娘は3年間本当に充実した高校生活を送っているのが、傍で見ていても分かりました。夏休みや春休みになると、早く学校へ行きたいと申し、1日も休まず通いました。そんな姿を見ていて、息子もこの高校へ行けたらと内心思っていました。ただ男の子なのに受験というハー

ドルを越えることなく進んでもいいものかと迷い、色々な高校を見学しながら親子で真剣に考えました。結局、ほとんどの高校が、大学受験のための予備校のようなどころで、息子にとって何が一番大切か考えますと、あまり魅力を感じませんでした。高校時代は将来の夢を見つける大事な時期だと思います。付属高輪台高校は、そのことを先生共々十分に考えてくださり、子どもたちにも十分にその時間と知識を与えてくださる数少ない高校の一つだと思って決めました。

息子はSSHクラスに入ることができ、今、将来の大きな夢探しに胸をときめかせていることでしょう。たくさんの知識を得、二度とない高校生活を多くの友人や先生方と共に、思い切り楽しんでもらいたいと願っております。



後援会会長

竹中 輝夫

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。いよいよ付属高輪台高等学校での生活がスタートします。付属高校の良さは、なんと言っても受験勉強がないの一言につきると思います。日頃の授業をしっかり受けながら、どうか皆さんは、受験勉強に他校の生徒が使っている時間を、自分を磨く時間に使ってください。具体的に言うと、自分

充実した3年間を

の得意技を身につけて欲しいのです。それはスポーツでも、勉強でも、趣味でもかまいません。何か一つ、自分が得意とする分野のスキルアップを図ってほしいのです。そして、将来自分が進む方向（自分が進みたい学部、学科、業界）を見つけだし、回り道することなく自分が描いた将来像に近づくための第一歩を踏み出してください。それからもう一つ、多くの友人を作り人的ネットワークも拡大させ、充実した3年間を送ってください。期待しています。

School Staff Corner

教職員のコーナー

青春を分かち合おう



1年9組担任
中村 春樹

理科、アメリカンフットボール部顧問

教員生活2年目を迎える私は、つい7年前に長野県の公立高校を卒業しました。

高校時代を思い出すと、様々な先生や友達とのよい出会いがありました。高校でできた友達は、部活が同じ、しかも3年間クラス替えがなかったのでクラスまで同じということもあり、高校時代をほぼ同じように送りました。高校卒業後はそれぞれ違う大学に進み、現在は職業も住む場所も違いますが、その関

係は今も続いています。学校での一日はただ授業を受け、部活をして家に帰る。ただそれだけの日々でしたが、そんな日々の中で友がいて、他愛無い話をし、ともに部活で汗を流す。時には対立し、喜びを共にすることができた高校時代を僕はとても幸福に思うことができます。友達と自由にできる時間があることを大切に、振り返った時、多くの思い出ができるよう学校生活を過ごして欲しいと思います。

また、東海大学の付属校では、「高校現代文明論」という科目があります。高校で出会った先生は、国語や地歴公民の先生でしたが、普通の授業の中でそれに似たようなことをしてくれていました。つまり、どう考えどう生きるのかということです。私の教科は理科ですが、私もそのようなことが伝えられるような授業を展開していきたいと思っています。そして、みなさんと青春を分かち合いたいと思っています。よろしくお願いします。

海外研修・留学の紹介

日本を出て、知識や英語力をさらにスキルアップするために、海外研修・留学に参加してみませんか。学園主催と本校独自の企画について紹介します。海外で学ぶことによって、帰国する頃には大きく成長した自分がいるはずです。



2004年度夏季英語海外研修

名称(主催)	期間	費用	主な内容	対象学年
夏季英語海外研修 (学校法人東海大学)	7月中旬～ 8月中旬	約50万円	ハワイではHTICでの寮生活。午前中は英会話の勉強。午後はフィールドトリップ(社会見学)。シアトルではホームステイ。現地のボランティア中高生と一緒にアクティビティを行います。	全学年
ヨーロッパ研修旅行 (学校法人東海大学)	12月中旬～ 12月下旬	約35万円	デンマーク、ドイツ、オーストリア、フランスを巡り歴史と異文化を学びます。	全学年
FEST HTIC 長期留学 (本校)	9月下旬～ 3月中旬	約140万円	全教科ネイティブによる現地学生と同様の徹底指導。学校から奨学金30万円が給付されます。	3年生 (2～3名)
SHIP HTIC 中期留学 (学校法人東海大学)	12月中旬～ 2月下旬	約80万円	全教科ネイティブによる少人数制の英語による授業。より高いレベルの総合的な英語力を身につけるために、アメリカと同じ教育方針で、集団生活の中で多くの課題に取り組みます。	3年生
カナダ中期留学 (本校)	1月初旬～ 3月初旬	約80万円	現地の語学学校と高校に通学。留学中はホームステイ。	3年生

※HTICはハワイ東海インターナショナルカレッジの略称です。
 ※夏季英語海外研修・ヨーロッパ研修旅行については、学園全体の参加希望者が25名に満たない場合は、実施されないことがあります。
 ※参加希望者には面接・審査があります。
 ※FEST以外は、すべて本学園または本校の教員が引率します。
 ※詳細については、後日発表される実施要項をご覧ください。

部・同好会活動紹介

卓球部

顧問 野崎和夫・田村英典 部員数 16名

本当の卓球

高谷 謙斗

3年9組、板橋区立志村第三中学校出身

私たちの卓球部は、男子15名・女子1名で活動しています。顧問は野崎先生と田村先生です。2人とも卓球経験者で時には厳しく、時にはやさしく指導してくれます。活動日は月曜から土曜です。月・火・水・土は地下2階大ホール、木・金は地下3階小ホールで練習しています。

「卓球」というと、みなさんは授業や遊び程度で誰もがやったことがあると思いますが、本格的にやると全身運動のかなり激しいスポーツです。また球技の中で最も玉の回転がかかるスポーツと言われてるので、一球一球、頭を使ってプレーをしなくてはけません。

練習内容は日によって変わりますが、主にサーブ練習、フットワーク、三球目、各自の課題、多球練習(野球でいったらノック)、ダブルスの練習などです。

また練習後に筋トレや走り込みもしています。

これらの練習の成果で新人戦は、団体都ベスト16、ダブルス都ベスト16、シングルス都ベスト64という結果になりました。さらにレベルアップするために今年は都ベスト8以上(関東出場)と学園オリンピック優勝が目標です。この大きな目標に向かって今まで以上の努力をしていこうと思います。



放送部

顧問 藤原広司・高林茂 部員数 5名

手作りの作品制作

加納 岳史

3年8組、江東区立第四砂町中学校出身

僕たち放送部は昼の放送や、各行事の手伝いなどをしてしていますが、大きな活動としては6月のNHK杯コンテ



スト、10月の高校連合文化祭大会で作品制作部門での上位入賞と全国大会出場を目指してがんばっています。

作品制作では、主に映像ドキュメント作品の制作を行っています。部員で話し合っって企画を決め、取材、編集をし、作品を仕上げます。しかし、編集技術ももちろんですが、企画やアナウンス、BGMなども評価対象となるため、どれ一つミスすることができず、細部まで注意しながら制作していきます。

意見を交換し、ぶつかりあいながら生み出した作品が、映像としてひとつにまとまり、メッセージとして伝えることができたとき、それは僕たちの最高の喜びです。今年度は、映像ドキュメントだけではなく、ラジオドキュメント、ラジオドラマなどの制作にもチャレンジしたいと思っています。

放送部では、現在アナウンスをする部員がいない状態です。アナウンスに興味がある方、昼の放送をやってみたいという方、是非放送部に入部してみませんか？ 編集や作品制作をやってみたいという方も是非待っています。

吹奏楽部 カナダコンサートツアー



吹奏楽部顧問
畠田 貴生
1学年所属、理科

私たち吹奏楽部は、2005年3月14日から25日まで、3回目となるカナダコンサートツアーを行いました。延べ10回を数える演奏会、

小学校等での交流、そしてホームステイ……。103人の部員達はハードなスケジュールを元気にこなし、一回りも二回りも精神的に成長し、無事帰国しました。ご協力いただいた、保護者の皆様、教職員の皆さん、そして、現地の須藤ゆみさん（コーディネーター）、ジョン・モンゴメリーさん（ノースバンクーバー教育委員会）を始めとする現地スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

We love Canada!!



園田 楓
3年1組、江戸川区立南葛西第二中学校出身

私たちのコンサートツアーはホールでの私たちの演奏の他に、各地で現地の高校生との合同演奏会を行い、また小学校では日本の伝統的なたこ揚げや、紙風船、独楽回しを教えて子供たちと楽しみました。

コンサートでは日本では体験することの出来ないスタンディング・オベーションを体験し感動しました。アメリカ・カナダに行くとは一気に雰囲気が変わり、コンサートが始まった瞬間からハイテンションでした！やはり本場のノリはすごいと思いました。自分達の思ったこと、感じたことをすぐに表現してくれる分、私達もカナダの人たちの思いを直に感じることができました。

また、私たちのつたない英語を我慢強く聞き取ってくれ、カナダの人たちの思いやりを感じました。だから慣れない英語も身振り手振りを交えてひるまず、部員一同、積極的にコミュニケーションをとっていました。

家族の一員として暖かく迎えていただいたホームステイ先で、また高校生や、小学生の交流の中で、私達は日本とカナダの文化の違いなどを学び、一方で言葉が通じなくても音楽を通して何かを伝えることができるということは素晴らしいことだと改めて実感しました。

このコンサートツアーのおかげで自信と誇りを持つことができました。

母の声…………… 子ども親も待ちに待った カナダコンサートツアー

天羽 真奈美
3年7組、天羽渉君のお母様

忙しい毎日の中で準備もそこそこの出発でした。そこから先は、みんな無事に楽しく過ごせるようにと、毎日祈る気持ちでいました。コンサートツアーから帰ってきたわが子は、ひとまわり成長したようです。演奏を聴きながら歓声をあげ、スタンディングオベーションで楽しさをあらわしてくれたカナダ・アメリカの人たちに国境を越えた優しさを感じたのでしょうか。「世界は広い」と自分自身を見つめ直すきっかけにもなったのではないのでしょうか。先日の山梨での演奏会では、子供たちが今までより一層輝いて見えました。カナダでの体験が子供たちの自信になったのではと思う演奏でした。このツアーに携わってくださった全ての方々に心から感謝しております。有難うございました。



活躍

する卒業生

Active Graduates

1992年卒

藤松 信義

青山学院大学理工学部
機械創造工学科
流体力学研究室助手

「希望を星につないで活躍する卒業生」、今回は1992年卒業の藤松信義さんです。『飛躍』でも何度か紹介しました宇宙科学研究所(JAXA)で、機能性分子センサを用いた圧力計測に関する研究など日本のロケット開発事業に従事され、多くの開発をなされた方です。高校時代は早朝に登校し、一人黙々と自習をされていた、と当時を知る先生が藤松さんの印象を語っておられました。

私は青山学院大学理工学部で助手をしています。高校入学前から航空宇宙の工学博士になり、研究者となることが目標でした。大学での勉強の基礎固めとなる高校では全科目に全力投球しました。自ら進んで勉強して先生に積極的に質問したり、大学の講義科目を調べて専門書を読みました。自ら学ぶ姿勢を身に付けたことが自分の強さになりました。大学では専門分野を限定せず、幅広く勉強しました。大学の恩師から、自分の考え方を育てて頂いたことが大きな糧です。常に高い目標に挑みたいこともあり、東京大学大学院への進学を決めました。当時は他の大学院の情報を得ることが難しく、

試験前は伊勢原の東海大学病院の図書館に泊まり込んで猛勉強をしました。東京大学大学院では博士号取得。その後、宇宙科学研究所(現JAXA/ISAS)に勤務、国内外の研究プロジェクトに携わり、その成果を特許申請しました。宇宙研では充実した毎日でしたが、大学の恩師の影響で研究と教育に従事したい想いがあり、青山学院大学に移りました。私が育てた最初の学生は今年度、東京大学大学院に進学しました。研究と共に教育にも意欲的に取り組んでいます。

高校のとき、「10年後の私」という題名で、工学博士になり、研究成果を特許申請したいと作文に書きま

した。自分が抱いた目標を忘れず、粘り強く取り組めば、実現すると思います。皆さんも希望をもって頑張ってください。



再使用ロケットの製作に関わったときの藤松さん。背面にあるのがロケットの中身です

短大 INFORMATION



アリーナにて新入生歓迎会が盛大に行われました

新入生オリエンテーションを終えて

柴田 正憲

学長補佐

クラスガイダンスでは自己紹介のあと学修の仕方や履修のスケジュールの説明を受け、早速、授業の履修計画を立てている学生も多く見られました。

7日には各系に分か

短期大学部高輪校舎では4月4日に入式が行われ、翌日5日より新入生オリエンテーション研修が9日まで行われました。短大生活の始めの行事として新入生は不安と期待の中で研修に参加していたようです。

れて学外研修がありました。マネジメント系は東京電力横浜火力発電所、情報サービス系はNEC本社ビルショールーム、メディア系は印刷博物館、エンジニアリング系は日本科学未来館とそれぞれの場所で学生

は何かを感じてくれたことでしょう。最終日には在校生による課外活動説明会や学友会による歓迎会がアリーナで行われ、今までの緊張がほぐれ、楽しいひと時を過ごせたようです。

このオリエンテーションは、学校生活について学ぶとともに、大切な学修の仕方について理解して行きます。また、はじめての仲間と行動をともにすることにより人とのつながりを作ることもできるでしょう。この1週間から、学生たちが2年間をより良きものとするきっかけを作ってくれたものと教職員一同信じています。

お知らせ

学園オリンピックにチャレンジ！ 婦恋夏季セミナーがあなたを待っている

一次試験・提出期限・提出先

部門	一次試験・提出期限	提出・問合わせ先	部門	一次試験・提出期限	提出・問合わせ先
国語	作品 5月11日(水)	東出先生	英語	一次 5月24日(月) 作文 5月11日(水) ※全員受験すること	吉田先生
数学	一次 5月 6日(金) 論文 5月11日(水)	渡部先生	造形	作品 5月24日(火)	小泉先生
理科	レポート 5月11日(水)	上松先生	知財	5月11日(水)	松本(初)先生

※応募作品・氏名・写真等は、学校報「飛躍」、[東海大学新聞]等に掲載されることがあるので、承知のうえ応募して下さい。

校外活動・スポーツ大会(5月14日) 充実した一日を!

3年 親睦を深めよう 新緑のもと野趣溢れる バーベキュー	2年 団結を図ろう 広々とした本校グラウンドでの スポーツ大会	1年 夢を見つけよう 最先端の教育を誇る 東海大学見学
--	---	---

行事予定

May 5月

June 6月

- 2日(月) 朝礼、(火曜日の授業)
- 3日(火) **憲法記念日**
- 4日(水) **国民の休日**
- 5日(木) **こどもの日**
- 7日(土) 後援会定期総会、部活動後援会定期総会
- 11日(水) **一斉公開授業**、専門医によるカウンセリング
- 12日(木) 学年集会(3年)
- 14日(土) **校外活動(1・3年)**
スポーツ大会(2年・総合グラウンド)
- 16日(月) (水曜日の授業)
- 18日(水) 中学校巡回、中学校訪問(1年)
生徒自宅学習(2・3年)
- 19日(木) 生徒による授業評価アンケート
- 21日(土) 後援会委員総会
- 24日(火) **中間試験(～27日)**
- 26日(木) 校医相談日(15:00～17:00)
- 30日(月) 教育実習(～6月17日)



校外活動(3年 バーベキュー)



(1年 東海大学見学)

- 1日(水) **東海大学付属推薦小論文試験(3年)**
小論文コンテスト(1・2年)
- 2日(木) 朝礼
- 3日(金) 生徒総会(7限目)
- 4日(土) 漢検
- 6日(月) 剛健検診(1・2年)
- 7日(火) 剛健検診(2・3年)
- 8日(水) 専門医によるカウンセリング
- 9日(木) 学年集会(2年)
- 11日(土) 英検、後援会学年懇談会
- 18日(土) 保護者会(1年)
- 20日(月) **研修旅行(2年)(～25日)**
4時限授業(1・3年)(～24日)
- 21日(火) (水曜日の授業)
- 22日(水) **自宅学習日(1年)**、**スポーツ大会(総合グラウンド)(3年)**
- 23日(木) 校医相談日(15:00～17:00)
- 25日(土) **スポーツ大会(総合グラウンド)(1年)**
- 30日(木) 東海大学進学説明会(2年、1限目)



研修旅行(ハワイ)



(オーストラリア)

編集後記

芭蕉の「五月雨をあつめて早し最上川」は陰暦で現在の6月梅雨のこと。「五月晴れ」は梅雨の合間の晴天。与謝野晶子の百花繚乱を歌う「五月よい月花の月～」は現在の暦。この詩の最後は「女の服の軽やかに美しくなる月」とある。シューマンの歌曲には「麗しき五月」がある。5月は生命力にあふれる月。一方、五月病というものもある。ご用心。(ゆ)